

2017 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES



2017 SEASON 特別規則書

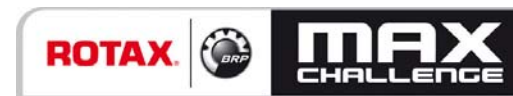
本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟『JAF』公認のもと、2017 年国際自動車連盟(FIA)の国際モータースポーツ競技規則および国際カート規則、ならびにそれに準拠した、2017 年 JAF国内カート競技規則および、JAF国内カート競技規則付則と規定、および ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 MAX、Micro MAX、MINI MAX、および追加規則と2017 年 本競技会特別規則書に従って開催されます。

第1章 競技会開催に関する事項

2017.03.01 改訂

第1条 競技会の名称

2017 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES



※以下、MAX CHALLENGE シリーズと表示します

第2条 競技種目

第1 種競技車両によるスプリントレース

第3条 競技会のクラス区分と格式

(1) 2017 MAX CHALLENGE シリーズ

- ・クローズド格式 : Micro MAX
- ・クローズド格式 : MINI MAX
- ・クローズド格式 : ROTAX MAX ノービス(Novice)
- ・クローズド格式 : **ジェントルマンクラス**
- ・制限付格式 : MAX Masters
- ・制限付格式 : **Super Masters**
- ・準国内格式 : Junior MAX 、
- ・準国内格式 : Senior MAX
- ・クローズド格式 : KZ / Rok Shifter (混走/別賞典)

第4条 開催日程と開催クラス

○印 ; シリーズ戦 ☆印 ; イベント 空欄 ; レースなし

	レース	Micro MAX	MINI MAX	ノビス ジェントルマン	Jnior MAX	Masters S-Masters	Senior MAX	KZ Rok-Sf
4 / 2(日)	第1戦	○	○	○	○	○	○	○
5 / 6(土) 5 / 7(日)	第2戦	○	○	○	○	○	○	○
6 / 11(日)	第3戦	○	○	○	○	○	○	○
7 / 30(日)	第4戦	○	○	○	○	○	○	○
9 / 3(日)	第5戦	○	○	○	○	○	○	○
開催数		5	5	5	5	5	5	5

注1、5月7日の第2戦は、5月6日からの2DAYで開催いたします。
 ※2DAYのタイムスケジュールは、確定次第、ご案内いたします
 注2、5月7日の第2戦と10月7日～8日に開催されるFESTIVALは
 クローズド格式になります。

第5条 開催場所

フェスティカサーキット瑞浪【全長1,177m、最大直線長145m】
 〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町 1064-118
 TEL:0572-63-3178 FAX:0572-63-3179

第6条 オーガナイザーの名称と所在地

主催

株式会社 フェスティカ
 〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町 1275-1
 TEL:0282-25-1500 FAX:0282-25-1512

共催

株式会社 栄光
 〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口 1-1709
 TEL:052-803-7055 FAX:052-803-7085

第7条 競技会組織委員会および審査委員会

大会公式プログラムにてご案内いたします。

第8条 競技会競技役員

大会公式プログラムにてご案内いたします。

第9条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する告知等、
 本規則発表後に生じた必要事項は、公式通知またはインフォメーションによって
 ご案内いたします。

第2章 競技会参加に関する事項

第10条 競技会参加に関する事項

- 1) 受付期間【基本;レース開催日1ヶ月前から期限まで】
 (1)2017 MAX CHALLENGE シリーズ

	開催日	申し込み期間
第1戦	4月 2日	～ 3月 26日(日)
第2戦	5月 7日	～ 4月 30日(日)
第3戦	6月 11日	～ 6月 4日(日)
第4戦	7月 30日	～ 7月 23日(日)
第5戦	9月 3日	～ 8月 27日(日)

- 2) エントリー期間終了後に参加申し込みを行う場合は、参加料に加え期間外手数料として、別途2,000円をお支払いいただきます。

- 3) Web エントリー 専用ページ

<https://eikoms.com/Entry/Mizunami/RMC/Entry.html> から
 Web エントリーを行えます。
 確定した合計金額を指定の口座にお振り込みください。

- 1、お振り込みにかかる費用は参加者の方でご負担をお願いいたします。
- 2、誓約書にご署名、ご捺印の上、レース参加受付までお持ちください。
- 3、エントリーフィーは、表記口座いずれかにお振込みをお願いします。
- 4、エントリー氏名と違う名称でお振込みされる場合は、必ず事務局までご連絡か、エントリー用紙にその旨の記載をお願いします。
- 5、レース当日のエントリーフィー決済はなるべくご遠慮ください
- 6、エントリー用紙にある誓約書欄は、必ずご記入、ご捺印をお願いします。

● お振込み先 : ジャパンネット銀行 すずめ支店 (002)

普通口座 No. 8265580 口座名義 : カ)キスメット

※お振り込み欄に、ご参加クラスと選手名が分かるようにご協力をお願いします。

例)クラス・お名前 = ヤマハKT・ミズナミ タロウ

【レース大会事務局】 フェスティカサーキット瑞浪

〒509-6472 岐阜県瑞浪市釜戸町 1064-118

TEL:0572-63-3178 FAX:0572-63-3179

メールアドレス info@festika-circuit.com

第11条 2017 MAX CHALLENGE シリーズの参加定員

1)各クラスは、最大定員は34台とします。

注1) MAX Masters クラス、Super Masters クラスは、カートライセンス条件付ドライバーと通常競技ライセンス保有者が混走となります。 ※JAF認可のもと開催

注2) MAX Masters クラス、Super Masters クラスの、カートライセンス条件付ドライバーが使用する車両は、ハンドアクセルとハンドブレーキが搭載されたリブレ車両となります。

注3) MAX Masters クラス、Super Masters クラスにおいては、通常のコース安全対策とは違ったサポートを導入実施します。 また競技に関する注意事項を参加者全員に告知し、了承していただいた上で競技を開催いたします。

注4) MAX Masters クラス、Super Masters クラスは、カートライセンス条件付ドライバーを明確に判断するために、車両ゼッケンを3桁にします。

注5) ※その他の処置または対応に関しては、公式通知に示されます。

第12条 2017 MAX CHALLENGE シリーズの参加資格

1)ドライバー資格

・ MicroMAX

当該年度 : 小学2年生~6年生

JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上

または、SL ライセンスカデットまたは B 以上

・ MiniMAX

当該年度 : 小学4年生~

JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上

または、SL ライセンスカデットまたは B 以上

・ MAXノービス

当該年度 : 中学3年生以上

FMSC ライセンス、SL ライセンスまたはJAFライセンス

・ ジェントルマンクラス

当該年度 : 35歳以上

FMSC ライセンス、SL ライセンスまたはJAFライセンス

・ MAXMasters

当該年度 : 25歳以上

JAF カート国内 B ライセンス以上

JAF カート国内ライセンス条件付き以上

・ Super Masters

当該年度 : 45歳以上

JAF カート国内 B ライセンス以上

JAF カート国内ライセンス条件付き以上

・ JuniorMAX

当該年度 : 小学6年生~17歳

JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上

・ SeniorMAX

当該年度 : 中学3年生以上

JAF カート国内ジュニア B ライセンス以上

・ KZ / Rok Shifter

当該年度 : 中学3年生以上

JAF国内Aライセンス以上

2)ピットクルー登録

全クラス16歳以上とし、ドライバー1名につき2名まで登録可能とします。

3)参加申込書

【ドライバーライセンスとエントラントライセンスのコピー】

参加申し込み書欄に、SL安全保険加入者ナンバーを記載出来ること。

または、死亡・後遺障害保証のある保険加入証明ができるもの

注)本大会へ出場されるドライバーは、SLO(一般社団法人カートスポーツ機構)が推進する「スポーツ安全保険」への加入が義務付けられます。

※ピットクルー・メカニックの方も傷害保険加入を推奨いたします

「スポーツ安全保険」とは財団法人スポーツ安全協会が、東京海上日動火災株式会社を幹事会社とする損害保険会社10社との間に、傷害保険を一括契約する補償制度です。

第13条 2017 MAX CHALLENGE シリーズの参加料

1)エントリーフィーにはピットクルー1名分の登録料が含まれ、各クラス以下の通りとします。

【Micro MAX、MINI MAX、MAXノービス、**ジェントルマンクラス**】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ① フェスティカ会員でMYポンダーの方 | 14,000円[税込] |
| ② フェスティカ会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 15,000円[税込] |
| ③ 非会員でMYポンダーの方 | 15,000円[税込] |
| ④ 非会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 16,000円[税込] |
| ⑤ 追加ピットクルー登録料 : 1名様分 | 1,000円[税込] |

【Masters、**Super Masters**、Junior、Senior、KZ125、Rok Shifter】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ① フェスティカ会員でMYポンダーの方 | 15,000円[税込] |
| ② フェスティカ会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 16,000円[税込] |
| ③ 非会員でMYポンダーの方 | 16,000円[税込] |
| ④ 非会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 17,000円[税込] |
| ⑤ 追加ピットクルー登録料 : 1名様分 | 1,000円[税込] |

2)5/6(土)-7(日)開催の第2戦エントリーフィーは下記の通りとします。

ピットクルー1名分の登録料が含まれます。

【Micro MAX、MINI MAX、MAXノービス、ジェントルマンクラス】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ① フェスティカ会員でMYポンダーの方 | 22,000円[税込] |
| ② フェスティカ会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 23,000円[税込] |
| ③ 非会員でMYポンダーの方 | 23,000円[税込] |
| ④ 非会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 24,000円[税込] |
| ⑤ 追加ピットクルー登録料 : 1名様分 | 1,000円[税込] |

【Masters、Super Masters、Junior、Senior、KZ125、Rok Shifter】

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ① フェスティカ会員でMYポンダーの方 | 23,000円[税込] |
| ② フェスティカ会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 24,000円[税込] |
| ③ 非会員でMYポンダーの方 | 24,000円[税込] |
| ④ 非会員でレンタルポンダーが必要になる方 | 25,000円[税込] |
| ⑤ 追加ピットクルー登録料 : 1名様分 | 1,000円[税込] |

第14条 参加受理と参加拒否

1. 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されます。
2. 参加を拒否された申込者に対しては、参加料が返還されます。
3. 参加を受理後、参加を取り消す申込者に対しての参加料は返金されません。

第3章 競技に関する事項

第15条 参加車両

2017年 JAF国内カート競技車両規定および、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2017 および、ROTAX MAX CHALLENGE Technical Regulations 2017と、2017年 本大会特別規則の車両規定に従って開催されます。

MYLAPS
SPORTS TIMING

第16条 自動計測装置(トランスポンダー)

- 1) 参加者は、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置(トランスポンダー)を使用することとします。トランスポンダーは競技終了後すみやかに返却してください。万が一破損、紛失した場合、理由の如何にかかわらず、1個につき31,500円(税込)をオーガナイザーへ支払っていただきます。
※高価な計測装置につきご理解賜りますようお願いいたします
- 2) 貸し出した自動計測器(トランスポンダー)に計測不良がおきた場合、レース中の交換可能な時間を判断し、別な自動計測器(トランスポンダー)に交換します。その場合もゼッケン番号に変更はありません。
- 3) 自動計測器(トランスポンダー)の配布は選手受付時におこないます。
また、貸出した自動計測器(トランスポンダー)の返却は決勝ヒート終了後、パルクフェルメでおこないます。
※マイホルダーの方は機器のみ返却してください
- 4) 参加者は、主催者が用意する自動計測装置(トランスポンダー)の代わりに、自身で所有する MYLAPS 製 TranX160・TranX260・TranX PRO・FLEX(通称マイポンダー)を使用することができます。
ただし使用する際は次項の項目を遵守してください。
 - (1)使用申請についてはエントリー用紙と車輛申告書に確実に記入してください。
 - (2)マイポンダーは所有者以外の使用はできません。また、参加者と共用して使用することも認められません。
 - (3)マイポンダーが正常に作動していないと、計時長(委員長)が判断し、競技役員により指示された場合は、直ちに主催者の用意する自動計測装置(トランスポンダー)に交換することがあります。この場合、計測器使用料1,000円が別途かかります。
 - (4)マイポンダーを使用する際は、充電、製品管理は自己責任となり、それに伴う計時トラブルに関しては、全て参加者の責任となります。

第17条 車載カメラについて

車載カメラ映像を競技判定資料として、提出して頂く場合がございます。

車載カメラを取り付ける場合、撮影した画像はあくまでも 個人が楽しむものであると同時に、主催者側から、車載カメラ映像を競技判定資料として、提出していただく場合がございます。

この場合、主催者側が画像を確認できた場合のみ、撮影画像を判定資料とします。

注)カメラ本体は、ボルト、ナット(推奨 M5mm 以上)等でしっかり固定し、ゼッケンナンバー

ベースを隠さず、安易に脱落しないようにお願いします。

また、特殊な小さいカメラを取り付ける場合、事前に主催者までご確認をお願いします。不備があれば、場合によっては取り外しを命ぜられますのでご了承ください。

レース参加前に必ずご確認をお願いします。

第18条 競技番号の指定(ゼッケン)

カート車両の前後およびサイドボックス両側に取り付けることとします。

※ベースサイズ 縦17cm 以上、数字 縦15cm 以上

※選手各自でご準備ください。既製品や自己作成可

- 1) **ジェントルマンクラス**: 赤色ベースに白文字とし、数字の形に制限はありませんが、見やすいものとします。
- 2) **Super Masters クラス**: 赤色ベースに白文字とし、数字の形に制限はありませんが、見やすいものとします。
- 3) **上記以外のクラス**: 黄色ベースに黒文字とし、数字の形に制限はありませんが、見やすいものとします。
- 4) 各クラスとも、指定範囲の中から希望のゼッケンを選択できます。
ただし希望番号が重複した場合は先着順とします。
- 5) 各クラスに欠員が出た場合、一度決めたゼッケンを変更する場合があります。
また欠員のいる場合のレースでは、連番とならないことがあります。
- 6) 各クラスのゼッケンは、1番から99番の範囲といたします。

※注) MAX Masters クラス、Super Mastersクラスの、条件付きドライバーは必ず、3桁のゼッケン番号を貼り付けてください

クラス	ゼッケン指定範囲
Micro MAX	1～99
MINI MAX	1～99
MAX ノービス ジェントルマン	1～99
Junior MAX	1～99
Senior MAX	1～99
MAX Masters, Super Masters	1～999
KZ / Rok Shifter	1～99

第19条 ブリーフィング【ドライバーズミーティング】

参加ドライバーおよびエントラントは、必ずドライバーブリーフィングに参加しなければなりません。

ブリーフィングに参加しない場合は、参加を取り消す場合があります。

第20条 ダミーグリッドの使用法

レース参加の選手はタイムスケジュールに準じ、指定のダミーグリッドにて出走準備をしないはいけません。ダミーグリッドに整列した後は、メカニック作業は禁止され、部品の交換、給油、ケミカル用品の使用等も禁止されます。

これに違反した場合、走行後の順位に対しペナルティが課せられます。

また、ダミーグリッドではエンジンの始動チェックが行えますが、エンジンのから吹かしは禁止されています。エンジンのから吹かしは、指定の場所または主催者側からの通知により行えます。

これに違反したドライバーに対して出走後のペナルティ対象となります。

第21条 MAX CHALLENGE シリーズのレース方式

レースは、タイムトライアル、予選ヒート、ファイナルとし、ファイナルヒートの結果により最終順位を決定します。

レース方式の詳細、周回数等についての確定は、公式通知にて発表します。

第22条 公式練習

「JAF国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章第23条」に基づき公式練習を行います。すべてのドライバーは公式練習に参加しなければなりません。またピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認められます。ピットインおよびピットエリア作業は認められません。

第23条 タイムトライアル

(1)すべてのドライバーは、公式通知に記載された時間またはタイムトライアルに参加しなければなりません。

タイムトライアルに参加しない場合には、失格とし予選ヒートは最後尾スタートとなります。

その対象車両が複数台ある場合は出走した順に配列されます。

(2)各クラスの参加台数が24台(フルグリッドの70%)を越えた場合、スタート順が記載された(例;Aが先、Bが後など)抽選によって2クラスのグループに分けられ、タイムトライアルをおこないます。

(3)時間内であればドライバーは自由にコースインすることができ、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができますが、ピットロードに進入したカートは、速やかにパルクフェルメに進むものとし、再出走は認められません。

(4)計測は、コースイン後に、スタートラインを通過したカートに対して全てのラップを計測しベストラップのタイムを採用します。

①義務周回数は定めません。

②記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用します。更に同タイムとなった場合は、ベストサードラップで決定いたします。

③計測が出来なかった車両については、ノータイムとし最後尾グリッドよりスタートといたします。複数台の車両がある場合は、ゼッケン順に配列されます。

④タイムトライアルが何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムトライアルを再開しますが、必要に応じて大会審査委員会が再タイムトライアル時間を決定することができます。

※その他の方法で行う場合は公式通知にて発表します。

⑤グループ分け(2組)があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムとの差が102%を超えない場合、出走したグループに関らず、各ドライバーが記録した最速タイムの順番になります。

⑥グループ分け(2組)があり、一方の組の最速タイムと別の組の最速タイムとの差が102%を超える場合、1位は第1組の最速タイム(総合最速タイム)とし、2位は第2組の最速タイム、3位は第1組で2番目に速いタイム、4位は第2組で2番目に速いタイム、5位は第1組で3番目に速いタイム、以下同様に決定されます。

⑦グループ分けの変更やその他の方式でおこなう場合は、公式通知にて発表します。

第24条 MAX CHALLENGE シリーズの予選ヒート

(1) 予選ヒートは、タイムトライアル順のスタートとします。

(2) 予選ヒートの周回数

クラス	周回数
Micro MAX	10周
MINI MAX	10周
MAX ノービス ジェントルマン	10周
Junior MAX	12周
Senior MAX	14周
MAX Masters, Super Masters	12周
KZ / Rok Shifter	10周

※ご注意

天候急変やアクシデント等の諸事情で、予選、決勝を含む各クラスのスタート順や周回数に変更になる場合があります。

③参加台数が34台を超えている場合は、A、B、2つのグループで予選を行い、ポイント獲得上位28台が予選通過となります。それ以降の着順者に関しては、セカンドチャンスヒートに移行となり、セカンドチャンスヒートの上位6台が決勝へ進めます。上位6台に入れなかったドライバーは予選落ちとなります。

※タイムトライアルでグループ分けがあった場合でも、参加台数34台以下の場合は、予選ヒート、フルグリッド34台のグループ分けなしで出走します。

第25条 MAX CHALLENGE シリーズのファイナルヒート

1) グリッドは、予選ヒートを通じて成績順によって決定されます。

2) MAX CHALLENGE シリーズの周回数

クラス	周回数
Micro MAX	14周
MINI MAX	14周
MAX ノービス ジェントルマン	14周
Junior MAX	18周
Senior MAX	20周
MAX Masters, Super Masters	18周
KZ / Rok Shifter	14周

3) 各クラスのトップチェッカードライバーは、ウイニングランをおこなう場合があります。

第26条 スタート

1) 全クラス、スタート方式はローリング(2列の隊列)スタートとします。

公式練習、タイムトライアル、予選はダミーグリッドからコースインとなります。

決勝は合図が出てから1コーナーからコース内に侵入し、進行方法に向かって指示された場所を先頭に隊列を並べます。

また、車両をグリッドに置いたあとは、コース内からカートスタンドを速やかにピットエリアに移動してください。 ※サポートとしてコース内に残れるのは、登録ピットクルーまたは登録メカニックのみとなります。

ローリング中のドライバーは低速走行し、円滑な隊列を守りながらスタートラインへ向かいます。ポールポジションとセカンドポジションのドライバーは、ローリングラップのペースを保ち、隊列を整える義務を守りながらホームストレートへ向かいま

す。25M ライン手前から引かれた2列の誘導白線を、スタートが切られるまでの間、車両がまたがないよう注意し走行することとします。

〔注意〕

レースの進行が大幅に遅れた場合は、ローリングラップを1周で終了し、スタートする場合があります。

※また、路面温度が著しく低い場合、暖気走行を実施し、ローリングラップの周回を増やす場合があります。

2)コースインするカートのスタート補助は、1コーナー両側に置かれたパイロンとパイロンを直線で結んだラインまでとします。

3)ローリング隊列は、スタートラインの25m手前に引かれたイエローラインを自分のカートが通過するまで急加速を禁止します。これに違反した場合はペナルティが課せられる場合があります。
また、隊列のグリッドを大きく乱し、赤旗によって競技が中断されるような行為をした場合、その対象ドライバーは最後列にグリッドを下げる場合があります。

4)ローリングラップ開始後、スタート信号灯にレッドライトが点灯され、隊列が整ったと判断した場合、レッドライトを消灯してスタート合図を行います。
スタートができずローリングラップをさらに1周行う場合には、レッドライトの点灯を続けます。
このときドライバーは手を上げ、もう1週の合図を出し、再びスタートの合図が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。
これに違反した場合はペナルティの対象となります。
※スタート信号灯にトラブルが発生した場合は、日章旗を使用します。

5)すべてのクラスにおいて、隊列がスタートライン手前25mラインを過ぎて、スタート合図が出れば、隊列の誘導白線をカットしても問題ありません。ただし、スタートの合図が出る前に、誘導白線をまたぐようにはみ出たり、隣のカートと接触するような行為をした場合は積極的な白黒旗が提示されます。ペナルティに関しては、ヒート後に順位降格やタイム加算をいたします。

6)ローリングラップ中に、隊列から大きく遅れたと判断されたドライバーに対し、白地に赤バツテンボードが提示され、そのドライバーは隊列の最後尾に着かなくてはなりません。 ※ミススタートとなった場合も解消されません。

7)ローリングラップ中にストップしてしまった場合は、確実に全車通過後、安全に自力で再スタートできた場合に限り、隊列の最後尾につくことができます。
ただし、危険地帯での停止等の場合、オフィシャルが手を貸しコースをクリアにする場合があります、この場合の再スタートの判断は競技長が決定する場合があります。

8)ローリングの隊列に遅れたドライバーは、コース内でスピード調整をして、隊列の前からペースを落とし自分のグリッドに戻ることはできません。前方から戻った場合は、ドライバーに黒旗が振られ失格となります。

9)ローリングラップ中の追い越し禁止区間は、⑪コーナーからスタートラインまでとし、かつ⑪コーナーからイエローライン(スタートライン手前25mライン)までは、加速をしてはなりません。
追い越し禁止区間の始まりは、⑪コーナー進入の両側に引かれた赤い線上からとなります。(左右に設置してある赤いパイロンが目印です) この区間に入って、ポジション復帰のため追い越しをするとペナルティの対象となります。

10)スタート後、先頭のカートが1周目を終了するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートに出走することはできません。
またローリング(隊列)ラップ中の先頭車両が、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンとパイロンを直線で結んだラインに差しかかった時点で、ピットエリアからの出走はできません。

11)不出走やローリングラップ中に停止したカートがいた位置が空席となったグリッドは、他のカートによって埋めてはならず、スタートラインを通過するまで空席が維持されなければなりません。

- 12) 以下の対象者は、赤旗中断後の再スタート時のグリッドは、最後尾とします。
- (1) ローリングラップ中の隊列を著しく乱す走行、ポジションを守れない走行によって、スタートが切れない場合、その対象者は最後尾スタートとする場合があります。
 - (2) ローリングラップ走行中、単なるドライバーの運転ミスや車両トラブルによって、競技を継続できないような原因を発生させ、競技を遅らせた対象者。

対象ドライバーが複数いた場合のスタート順は、協議の上決定します。

第27条 その他競技に関する注意事項

- 1) 全てのドライバーは、危険回避義務があることを十分に理解しなければなりません。
- 2) 停止車両がドライバー自身によって、再スタートならびに車両移動ができないと判断された場合、オフィシャルの手によって、安全な場所に車両を移動する場合があります。
この場合、通常はレースリタイヤとなり競技が終了します。また、危険地帯での停止、多重クラッシュによる車両の重なり等をオフィシャルが手を貸し救済補助する場合があります。このあとレースに戻れるかどうかは競技委員の判断による場合があります。
必ずしもオフィシャルが手を貸したことによって、リタイヤというのではなく、安全を第一に考えて競技を進行させることをご理解ください。
基本規則は、公式練習、タイムトライアル及びレース中にスピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく、後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できるものとします。
復帰するための最小限の方向転換は認められます。
※カデットやジュニアクラスは、地域によってカートを降りた場合即レース終了という事項もありますが、緊急の場合、救助を優先いたします。
- 3) リアタイヤが地面に接地した状態(リアタイヤが常に地面に接触した状態)でのみエンジン始動・作動が認められます。また、ピット・パドックでのエンジン始動は禁止とし、エンジンの始動・動作確認については公式通知にて案内します。

- 4) ピットインする場合はピットロードを必ず徐行しなければなりません。
徐行を怠った場合や危険な走行はペナルティを課せられることがあります。
また、ピットインした場合はいかなる理由であっても必ずピットエリア内でストップし、エンジンを停止しなければなりません。再スタートはその後認められます。
ただし、ピットエリア外やパドックに入った場合はレースリタイヤとなります。
- 5) ピットサインが出せる位置は、指定されたサインエリアのみとし、指定のピットパスを所持するピットクルーのみとします。また、ローリングの隊列がコースインしたときから、隊列がスタートを切って1コーナーを過ぎるまで、ピットクルーのサインエリアへの立ち入りは禁止とします。
指定のサインエリアとピットパスに関しては公式通知にて発表いたします。
- 6) ショートカットはオフィシャルの指示がない限り禁止となります。ショートカットをした場合、ペナルティの対象とします。ショートカットについての解釈は、走路でない場所を走行したドライバーが、その行為により有利になる状態が発生した場合を示します。 ※ただし、ローリング時は瑞浪特別規則でおこなう場合があります
- 7) レース残りわずかな周回で、コース上に停止したカートがレースに復帰する場合、1位のカートがチェッカーを受けてから2分以内までとします。
パルクフェルメで車両検査をおこない、車両の適合、不適合を競技委員、車検委員が審議し判断します。
- 8) 悪天候やレース進行上のトラブルによりクラス出走順を入れ替える場合があります。
また赤旗によりレース中断した場合も同様の措置をとる場合があります。
- 9) タイムスケジュールの基準時計をコースに設置します。
各ヒート定刻までにダミーグリッドに来ていないカートがいたとしても、時間通りにコースインとします。



第28条 ドライバーの装備品

1)レーシングスーツとフルフェイスヘルメット

レーシングスーツはCIK/FIA(FMK)公認またはJAF公認のレーシングスーツ着用が義務付けられます。 ※SLカートミーティングクラス、イベントクラスで過去に公認実績があれば使用できます。 ただし、汚れ、ほつれ、穴の開いていない清潔なものとしします。

ヘルメットは規格公認品を使用し、保護の役割を果たさないと判断した場合や著しく損傷しているものは使用不可とします。 ※使用年数が10年を越えるものも使用できません。

2)CIK公認ジュニア用ヘルメットの装着について

15歳以下のドライバーに対し、CIK公認ジュニア用ヘルメットの装着を強く推奨します。

3)Micro MAX、Mini MAXクラスのドライバーに対し、ネックガード、プロテクターを必備とします。

4)捨てバイザー(ティアオフシールド)の使用は認められますが、コース上に投げ捨てることは一切禁止とします。

但し走行中に外れかけている場合や、オフィシャルが判断した場合はオレンジボールの対象となりますので、ご注意ください

第29条 信号旗

「JAF国内カート競技規則」カート競技会運営に関する規定第3章に従ってください。なお、Senior MAX、Junior MAX、MAX Masters、Super Mastersクラスにおいて青・赤(2重対角線で区分)旗が使用される場合があります。この旗は提示されたドライバーのレースからの除外を意味し、速やかにピットインとなります。

1)『白地に赤バツテンのボード』

ローリング隊列から大きく遅れたと判断され、白地に赤バツテンボードが提示されたドライバーは最後尾に着かなければなりません。

2)『緑旗』

- (1)ダミーグリッドからのスタート合図は緑旗(グリーンフラッグ)を用います。
- (2)イエローフラッグ(追い越し禁止)解除に用います。

イエローフラッグ提示ポストから、追い越し禁止解除ポストで、グリーンフラッグを提示します。

3)『白黒旗』

以下の場合、対象ドライバーに対し、積極的に白黒旗が提示されます。

(1)ローリングスピード落とさないドライバー

(2)ローリング隊列の自己ポジションを無視して乱すドライバー

またスタート後に、同じドライバーが白黒旗の対象になるような行為をした場合そのヒートで白黒旗累積2回になり黒旗が提示され失格となります。

※白黒旗は、その他のヒートには累積されません。

4)競技旗や白地に赤バツテンのボード、その他の合図は基本ホームストレート横に設置されたボックスにて、コース委員長や競技委員が提示しますが、競技の途中、④番ポストの競技オフィシャルが提示することもあります。

それ以外の方法を取り入れる場合は、公式通知にて示します。

5)競技中に、吸気、排気装置にトラブル・脱落が発生した場合、ただちに安全な場所へ停止するか、パドックに入って競技を終了しなくてはなりません。競技を続行している場合、そのドライバーに黒旗の提示を行い、競技を強制終了させます。

※ただし、安全上問題がある場合は、その限りではありません

注)安全上問題がある場合、オレンジボール旗で修理させる場合もあります

6)『黒旗』

ドライバーに対し、レースを強制終了し、競技長の元に来てくださいという意味で、黒旗は即失格ではなく、違反の内容を確認し、競技の裁定を告げます。

第30条 給油

レース中のピットエリアおよびコース上での給油は禁止とします。

走行準備のため給油する場合は、パドックエリアのみとなります。

※レース赤旗中断の場合、給油は競技長より指示があるまで出来ません。

第31条 燃料(ガソリン)の指定と検査

「JAF国内カート競技車両規則」第2章 第25条 に準じ、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリンを使用しなければなりません。

第32条 レースの中断

「JAF 国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第9章 第35条「レースの中断」に準じ、**赤旗提示の場合**ドライバーは直ちに速度を落とし、レースを中断するため追い越しをせず、オフィシャル指示に従い停止できる体制でホームストレート上のスタートライン手前で徐行して停止します。

その場合、センターを空けて危険を回避することに努めてください。

競技長の指示があるまでピットクルーはグリッド上への介入および車両の整備をおこなってははいけません。また、工具を用いた修理等は一切禁止されます。修復が必要になったカートは、ピットエリアで修理しレースに復帰できる場合があります。赤旗後の処置対応については、予選(プレファイナル含む)と決勝で裁定が異なりますので、公式通知にて発表いたします。

第33条 レース終了

- 1) 決勝ヒート着順1位のドライバーがフィニッシュライン通過後2分以内にカートが同ラインを通過したドライバーに対してチェッカーフラッグが振られます。
- 2) 先頭車両にチェッカーフラッグが提示された時点で、ピットロード出口はクローズとなりピットエリアにとどまっているカートは、再度コースインは認められません。
- 3) 車両を押してチェッカーフラッグを受けることは認められません。
- 4) レース終了後のダブルチェッカーは嚴重警告となります。
- 5) 決勝レース、トップでチェッカーを受けた1位のドライバーに対し、ウイニングランをおこなう場合があります。 ※詳細は公式プログラムで発表いたします

第34条 完走

完走とは、1位のドライバーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2分以内にカートが自力でフィニッシュライン(ゴールライン)を通過すれば、そのラップまでが加算されます。

また、チェッカーフラッグに関係なく、規定周回数の1/2以上を完了していること。

ただし、車両検査で適合しなければなりません。

第35条 順位の設定

レースの順位は次の順序により周回数の多い順に決定されます。

- (1) 完走者(チェッカーを受けたドライバーで車検を通過したドライバー)
- (2) 完走者(チェッカーを受けていないドライバーで、車検を通過したドライバー)
- (3) 不完走者(完走扱いにはならないが、車検を通過したドライバー)
- (4) エンジン交換規定により、最後尾スタートとなったドライバー
- (5) 失格者(順位はつかず、リザルトには掲載される)
- (6) 不出走者(順位はつかず、リザルトには掲載される出走できなかった者)

※上記対象者が複数の場合は、ゼッケン順で並べます。

※ペナルティ対象の選手がDNF選手より順位が下回る場合は、DNF選手を優先とします

第36条 車両保管および公式車両検査

- 1) 「JAF 国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定第3章に基づき、車両検査が行われます。公式車検ではレーシングスーツも車検の対象となります。CIK/JAF 公認実績のあるレーシングスーツの着用が義務付けられます。規則に不適合な部分がありながらも、なお技術委員に見えなかった場合でも承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合があります。
- 2) 公式車検の日時および場所は公式通知にて通知いたします。
- 3) 公式車検は時間内で締め切ります。公式時間を厳守お願いします。
- 4) 各ヒート終了時には必備部品が備わっているものとします。
※必備部品の軽度なズレなどに関しては、車検長の判断になります
- 5) 決勝レース終了後は、指定車両に対し車両保管および再車両検査を行います。
- 6) 車両保管の時間は決勝レース終了後30分以上とし、所定の場所で行われます。保管中は技術委員の指示があるまでは保管カートに一切触れてはなりません。
- 7) 車両保管解除後は、車両をすみやかに引き上げなければなりません。
- 8) 技術委員長は、スタートした全ての車両に対して検査を行なう権限を持ち、技術委員長より検査の指示があった場合は、参加者もしくは登録されたピットクルーが責任を持って、車両やエンジンの分解および組み立てを行うこととなります。また、関係役員、エントラントおよびドライバー、登録されたピットクルー以外は検査に立ち会うことはできません。車検対象車両やエンジンの検査終了後は、すみやかにエンジン、部品、工具類など一式を必ず引き上げなくてはなりません。

9)本条項の検査に応じない場合は失格とします。

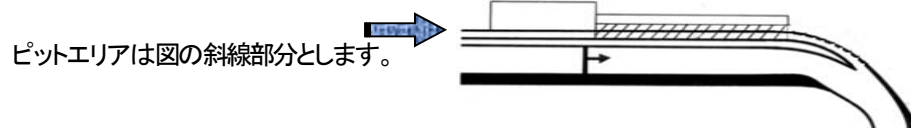
10)記条項の違反者に対して大会審査委員会の決定するペナルティが課せられます。

第37条 ピットクルーおよびピットエリア、パドック

1)ピット内およびピット前作業エリア(ピットエリア)で作業できるのは当該クラスに出場しているドライバーと登録されピットクルーのみとします。

2)ピットエリアに入れるのは、登録されたピットクルーとドライバーのみとします。また無登録の者がピットエリアで作業すると、違反行為になりピットクルーペナルティが課せられます。

ピットエリア【ピット作業ができる場所】 クラブハウス ピット



屋根付きピット下前面の指定エリアとピットロードに引かれた白線内とします。ピット作業をエリア外で行うと「ピット外作業」に該当し、ペナルティの対象となります。

- 3)コース内での回収作業、グリッド上でのスタート補佐などは、登録されたメカニックおよびピットクルーとドライバーのみとします。
- 4)ピットクルーの行為については、「JAF国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定18条」に基づき、ドライバーに直接統括の責任があるものとし、よって、ピットクルーによる規則の違反で当該ドライバーに黒旗を提示することがあります。
- 5)パドックやピットエリアで、暖気のためのエンジン始動やから吹かしはできません。エンジン始動確認エリアを指定しますので、その指定箇所でのみエンジンの始動確認ができます。 ※その場所は公式通知にて発表します
- 6)パドックエリアにおいて火気および発火物の使用は禁止されます。
- 7)ピットロードはスルー通過できません。(ペナルティの対象となります)

第38条 審判員 [競技オフィシャル]

- 1) 「JAF国内競技規則」10-20に基づく審判員の判定は、本大会特別規則を参照に実施します。
- 2) 審判員[競技オフィシャル]の氏名は、公式プログラムもしくは、公式通知で示されます。

第4章 抗議に関する事項

第39条 抗議

- 1)「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとします。
 - (1)技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は、車両検査後15分以内とします。
 - (2)競技中の過失または反則に対する抗議は、その競技終了後30分以内とします。
 - (3)競技の成績に関する抗議はその発表後30分以内とします。

2)大会運営役員に対する各抗議はエントラントのみ受け付けるものとし、抗議料は、現金20,300円とする。

(JAF国内カート競技規則・付則、カート競技に関する申請・登録等手数料規定に関する第8条に基づく)

提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラント及びドライバーの負担とし、これと反対に、当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられます。

3) エントラント及びドライバーの遵守事項

- (1)エントラントは自己の係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有します。
- (2)エントラント、ドライバー及びピットクルーは本特別規則の下で開催される競

技会中に生じた事態についてコースの所有者、主催者とその関係者及び大会役員に対していかなる責任も追及できません。

- 4) エントラント、ドライバー及びピットクルーはスポーツマンらしくらぬ行為や不謹慎な言葉遣い、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とします。
- 5) 規則の解釈
本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものといたします。



第5章 賞典およびシリーズに関する事項

第40条 賞典と副賞

- 1) 決勝の順位によって賞典対象を決定します。
- 2) 賞典はドライバーに対して行われます。
- 3) 内容は全クラス、次のように定めます。

〔賞典表と公式プログラムで発表〕

〔2017 MAX CHALLENGEシリーズの賞典表〕

1位	トロフィー、副賞
2位	トロフィー、副賞
3位	トロフィー、副賞
4位	副賞
5位	副賞



- 1、参加台数10台以下：各クラス1～3位まで
- 2、参加台数11台以上：各クラス1～5位まで

※ また賞典の対象は、決勝ヒートにおいて完走(完走扱い含む)したドライバーに限ります。

第41条 シリーズポイント

- 1) シリーズポイント (与えられる得点は次頁表を適用します)は、MAX CHALLENGE SEIES クラスの決勝レース完走者(規定周回数の1/2以上を走行し、車両検査で適合を受けたドライバー)のみに与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられません。
- 2) 決勝ヒートにおいて、ポールポジションのドライバーに、3ポイントが加算されます
- 3) 全戦出場者、**最終戦出場者**には、ボーナスポイント+5ポイント加算します。
- 4) ポイントは**全5大会中「4大会の上位ポイント有効」**とします。
- 5) 獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定いたします。
 - (1) 上位入賞回数が多い者。
 - (2) ポイント、上位入賞回数と同じ場合は、最終戦の成績が上位の者。
 - (3) 出場回数が多い者。

〔通常のシリーズポイント表〕

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	25	8	13	15	6
2	22	9	12	16	5
3	20	10	11	17	4
4	18	11	10	18	3
5	16	12	9	19	2
6	15	13	8	20	1
7	14	14	7		

- 6) 各クラス最終戦は、以下の表の通り決勝成績の獲得ポイントを1.2倍とします。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	30	8	15.6	15	7.2
2	26.4	9	14.4	16	6
3	24	10	13.2	17	4.8
4	21.6	11	12	18	3.6
5	19.2	12	10.8	19	2.4
6	18	13	9.6	20	1.2
7	16.8	14	8.4		

第6章 広告に関する事項

- 7)各クラスの瑞浪シリーズポイント累計は、最終戦終了時に集計し、総合の獲得ポイント順によってシリーズチャンピオンが決定されます。
- 8)各クラスのRMCポイント(栄光で別集計)は、MAX FESTIVAL開催の10月8日で累計期間が終了し、GRAND FINALに招待する選手が決定されます。
また、10月8日以降に、各地域のMAX CHALLENGE シリーズで獲得したRMCポイントは、2018年のMAX FESTIVAL 開催時まで累積加算されます。
- 9)MAX FESTIVAL開催時に獲得したポイントとRMCランキング集計順位表は、栄光のホームページ <http://www.eikoms.com> にて後日発表いたします。

第42条 シリーズの成立とシリーズ賞典

- 1)シリーズの成立
4大会の開催でシリーズ成立とします。
 - 2)シリーズ賞典;正賞
各クラスのシリーズランキング1位~5位までに、シリーズ賞が与えられます。
 - 3)副賞 **MAX CHALLENGE シリーズ 各クラス ※Super Masters 含む**
シリーズチャンピオン:
シリーズ優勝賞金と、チャンピオン盾を贈呈
シリーズ2位から5位:シリーズ入賞品と記念の盾を贈呈
 - 4)副賞 **MAX ノービスクラス、ジェントルマンクラス**
シリーズチャンピオン:
シリーズ優勝賞品と、チャンピオン盾を贈呈
シリーズ2位から5位:シリーズ入賞品と記念の盾を贈呈
 - 5)副賞 **KZ / Rok Shifter クラス**
シリーズチャンピオン:
シリーズ優勝賞品と、チャンピオン盾を贈呈
シリーズ2位から3位:シリーズ入賞品と記念の盾を贈呈
- 上記内容はシリーズへの参加台数などによって変更する場合がございます。

第43条 競技と広告について

- 1)ナンバープレートに広告を表示することは認められません。
- 2)広告(スポンサーステッカー、協賛等のロゴ)については車両検査までに取り付けてください。
- 3)オーガナイザーは次の者に対し抹消する権限を有しドライバーはこれを否定することはできません。
 - (1)公序良俗に反するもの
 - (2)政治、宗教に関連したもの
 - (3)本競技会と関係するスポンサーと競合するもの

第44条 肖像権および個人情報に関する事項

レース主催者は、個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、レースイベント参加者の肖像権および個人的情報を下記業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。

【業務内容】

レースイベントの受付、レースイベントのプログラム作成、レースイベントの状況撮影、レースイベントのリザルト(成績表)作成、保険加入有無の確認、その他、レースイベントを円滑に行うことができる業務およびこれらに付随する業務。

【利用目的】

- 1)レースイベント事務手続きを行うため
- 2)レースイベント参加者の個人成績を公表するため
- 3)レースイベント内容を、インターネットやブログ、その他のデジタルツールで情報を公開するため
- 4)レースイベントの状況動画や画像配信をおこなうため
- 5)レースイベント中に事故があった場合、関係各所にて保険処理をおこなうため

第7章 ペナルティ[罰則]に関する事項

第45条 ペナルティ

- 1) 2017年競技規則に基づく危険・反則行為に対し、ペナルティを課します。
ペナルティの判断は、競技長からの報告を受け、審査委員長(審査委員会含む)によって、国内格式競技罰則やフェスティカサーキット瑞浪罰則(ペナルティカタログ)等の資料に基づき決定されるものとします。
- 2) ドライバーサインを怠ったドライバーやドライバーマナーを厳守していないドライバーに対し、注意、警告とする場合があります。
この場合、クラブハウス大会審査委員室(2階計時室)まで来ていただきます。
- 3) 定められた方向とは逆に走行した場合ペナルティを課します。
- 4) 指定された作業エリア以外での作業にペナルティを課します。
- 5) 競技会中の反則行為について、ドライバーを停止させることなくペナルティを課す場合があります。

第46条 その他一般事項

- 1) 変更事項が生じた場合は公式通知にて通知します。
- 2) 技術委員に承認されたデータロガー(データ蓄積装置)およびタコメーターの使用は可能とします。ただし、データロガー用のトランスミッター(発信機)の設置場所は、コース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとします。
- 3) オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の一部あるいは全部を延期、中止する事ができます。なおエントラント、ドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を有しません。
さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限もあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。
- 4) パドック、ピット、ピットエリア内の火気の使用は禁止されます。
※施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず後日でも処理していただきます。
- 5) 指定された場所以外での喫煙は禁止されます。
- 6) 使用するピット・パドックは主催者側で指定させていただきます。
- 7) 使競技中の電光板表示(タイム・順位)およびレースアナウンスは、サービスの一環としておこなっているものであり、競技成績の暫定や正式との食い違いがあったとしても、審査委員会と計時による競技最終結果[リザルト]が優先されます。

第47条 損害補償

1. すべての参加者は、自己の過失により、施設の器材、計測器等、その他諸々に損害を与えた場合は、その損害について責任を負うこととします。
2. 主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバーおよびピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとします。

第48条 本規則書の解釈

本規則書ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、審査委員会の決定を最終的なものとみなします。

第49条 本規則書に記載されていない事項

本規則書に記載されていない事項は、2017 FIA(国際自動車連盟)の国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠した2017年 JAF(日本自動車連盟)国内競技規則とJAF国内カート競技規則、2017年 本大会特別規則書とその車両規定、ROTAX MOJOMAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 MAXの車両規定に準拠します。

第8章 カートに関する事項

第50条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、次の個数が登録できます。

対象クラス	シャシー	エンジン	タイヤ
MAX ノービス ジェントルマン	1台	1基	ドライ 1セット ウェット 1セット
KZ / Rok Shifter		2基	※ウェットは以下事項確認
MAX チャレンジクラス ※Super Masters 含む			

【エンジン登録注意事項】

注1)登録できるエンジンが1基までのクラスに関しては以下の通りとします

1)公式練習後にエンジン交換をする場合、技術委員確認立ち合いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンに1回のみ登録を変更することが可能です。※1選手のエンジン交換は、1日1回のみです
この場合、タイムトライアルには出走できますが、エンジン交換した選手の、タイムリザルトは反映されることはなく、ノータイムとなり、予選ヒートのグリッドは最後尾スタートとなります。

2)タイムトライアル、予選後にエンジン交換が生じた場合、技術委員確認立ち合いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンに1回のみ登録を変更することが可能です。
この場合、次のヒートのグリッドは最後尾スタートとなります。

3)エンジン交換によって、最後尾スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートは、エンジン交換申請書提出順にグリッドを決定します。

※必ず、事務手数料¥2,000を事務局にお支払い、エンジン追加登録の手続きを事務局に提出してください。

注2)登録できるエンジンが2基までのクラスに関して、規定に合致する仕様の、エンジンを2基まで登録することが可能です。

注3)登録できるエンジンが2基までのクラスに関して、公式練習後やその他のヒート後に、エンジン交換が生じた場合、登録内のエンジンに交換が可能です。(技術委員長の確認、立ち合いは不要)

注4)登録できるエンジンが2基までのクラスに関して、エンジンを1基しか登録していなかった場合、公式練習、タイムトライアル、予選、プレファイナル等の後に、エンジン交換が生じてエンジンを追加登録する場合は、技術委員確認立ち合いのもと、大会審査委員会の承認を得て、別なエンジンに1回のみ登録を変更することが可能です。

※必ず、事務手数料¥2,000を事務局にお支払い、エンジン追加登録の手続きを事務局に提出してください。

注5)MAX チャレンジクラスのみ、シェアするエンジンに関しては、双方のドライバーがエンジン登録書にシェアすることを記入しなくてはなりません。

注6)車検対象となるドライバーが、交換エンジン、再登録エンジン、シェアエンジンいずれかでレースを終了した場合、交換した登録エンジン、シェアエンジン、使用部品すべてが対象となります

注7)エンジンの変更(交換)申請は、各ヒートのスタート20分前までとします

注8)エンジン交換によって、最後尾スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートはゼッケン順にグリッドを決定します。

※【ウエットタイヤ注意事項】

使用できるウエットタイヤは1セットとします。ただし、路面コンディションの著しい変化によって、使用していたウエットタイヤの性能が安全を確保できない場合、審査委員会が判断し全員がもう1セット使用できることがあります。

第51条 カート

カート車両は本特別規則書技術規定に合致した車両であることとします。

注)リブレ申請車両:MAX Masters、Super Masters 『制限付き格式』において条件付きドライバーが使用する車両には、ハンドアクセル、ハンドブレーキ装置が搭載され、その装置はしっかり固定され、円滑、安全に機能することとし、事前検査において万が一不具合があった場合は速やかに修復するか、または交換が必要となります。
指摘された不具合が修復できない場合は競技に参加できません。

第52条 タイヤ

1)各クラスは、公式練習に登録していないタイヤを使用することができます。
※ただし、Micro MAX クラスとMINI MAXクラスは、公式練習中から指定の登録タイヤのみを使用となります。

2) 公式練習中のタイヤ交換は認められます。

※ただし、Micro MAXクラスとMINI MAXクラスは、公式練習中から指定の登録タイヤのみを使用となっていますので、登録済みの「ドライタイヤ」または登録済みの「ウエットタイヤ」内での交換になります。

3) 主催者が許可したマーキングタイヤのみ、タイムトライアルからの使用を許可します。

タイヤマーキングは朝車検までに参加者がゼッケンを記入し、レース用登録タイヤは、車検委員が封印するものとします。

封印登録したタイヤは、4)の事項以外交換できません。

4) 不慮のトラブル(バースト、その他のタイヤへの損傷)の場合、技術委員長の承認のもとに1本のみ交換が認められます。その場合の差し替えのタイヤは中古のものとなります。

第53条 最低重量

最低重量は以下の通りとします。

クラス	最低重量
Micro MAX	115kg
MINI MAX	125kg
MAX ノービス ジェントルマン	160kg
Junior MAX	150kg
Senior MAX	160kg
MAX Masters, Super Masters	165kg
KZ / Rok Shifter	175kg

※注)MAXノービス、ジェントルマンクラスにウエイトハンディキャップ制を導入します。



【ウエイトハンディキャップ内容】

1位～3位に入賞したドライバーに対し、次戦から最低重量の160Kg に以下の通りハンディキャップ重量を加算します。

『 1位=3Kg 加算 2位=2Kg 加算 3位=1Kg 加算 』

1) 対象となる次戦においても1位～3位となった場合は、さらに順位に応じたウエイトハンディキャップを加算します。

※ハンディキャップ重量の上限は無しとします。

2) 上記加算されたウエイトハンディは、シリーズ第4戦まで免除されることはありません。ただし、第5戦の最終戦は全車ハンディ無しとします。

3) 取り付けるハンディキャップ重量は、重量調整用の固形材料とし参加者(ハンディキャップ取り付け対象者)の方で準備ください。

4) 走行前の車検検査において、ウエイトハンディキャップ対象者はその加算重量を適正に取り付けているか確認します。

【重量規定調整用ウエイトに関して】

最低重量を満たすためにウエイトを取り付ける場合、ウエイトは全て固形の材料を用い、直径最小 6mm の少なくとも2本のボルト用いてシャーシまたはシートに取り付けなければなりません。

取り付け方法が危険な場合、そのカートの所有者またはドライバーに対して、取り外し、または、再固定を命じる場合があります。

第54条 インテークサイレンサー

ROTAX MAX Challenge 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2017、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Technical Regulations 2017 を参照し、合致したモデルを使用してください。

またインテークサイレンサーの空気取り入れ口付近に、空気の流れを変える装置や整流板、導風板等を取り付けることは禁止されます。

それに類する装着物が発見された場合は取り外しが命ぜられます。

ウエットコンディションで吸気雨カバーやインテークサイレンサー周辺の雨進入防止板を装着する場合、ウエットタイヤ装着時限定となります。

ウェットタイヤを装着していな時に、同様のものが車体に取り付けられていたことが判明した場合、車両不具合となり、車両違反の対象となります

第55条 外装品・タイヤ位置規定

前後輪ともカウル等の外装品とリアプロテクション(過去に公認取得済みのものに関しても使用可能)の装着を義務付けます。

またタイヤ位置は、ドライ・ウェットを問わず、前後輪ともカウル外装品とリアプロテクションの一番外側から1mm以上外にでていることとします。

ご注意⇒ MAX ノービスクラス、ジェントルマンクラスは対象外とします

第56条 外装品規定

車両に取り付ける外装品は、過去に公認取得済みのものが使用可能となります。取り付けの際の加工や改造は禁止されます。最新の、CIK 公認 2015-2020 のフロントフェアリングの使用も認められます。

注) CIK 公認2015-2020のフロントカウルを装着している場合、全日本選手権規定では、正しい装着状態でなかった場合、いかなる理由でも10秒加算のペナルティになりますが、ROTAX CHALLENGE SERIES 戦においては、そのペナルティは対象外となります。

第57条 ブレーキ

フットペダルによって両方のリアホイールに同時かつ有効に作動しなければなりません。Micro MAX、MINI MAX、MAXノービス、**ジェントルマン**、MAX Masters、**Super Masters**、Junior、Senior 各クラスにおいて、フロントブレーキ付きシャーシの使用を禁止します。

KZミッション125、Rokシフタークラスは、フロントフットブレーキでもフロントハンドブレーキでも使用を認めます。 ※ただし、一般市販品や純正品に限ります

注)フロントハンドブレーキは、主催者が認めた者のみ使用許可します。 ※ただし、一般市販品や純正品に限ります

第58条 ブレーキダクト装着の許可

ブレーキダクトの装着はシャーシのブレーキ側に1本のみとし、ダクトに使用出来る材質は、柔軟で割れにくいプラスチック素材または、アルミ製の方向が変えられるジャバラ状の筒で、空気の吸気部が丸形状のものは円周、四角のものは四辺で計測し60cm 以内とします。

空気通路部分は円周・四辺で計測し30cm 以内とします。

※取り付け方法、使用許可品はJAF規則に準じます。

第59条 ネックガードおよびリブプロテクター

Micro MAX、MINI MAX、Junior MAX および12歳以下(小学生)のドライバーは、ネックガードとリブプロテクターを必備とします。13歳(中学生)以上のドライバーは、ネックガードおよびリブプロテクターの装着を強く推奨します。

第60条 ラジエター

- 1) 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2017、ROTAX MAX CHALLENGE Technical Regulations 2017 を参照し、合致したモデルを使用してください。
- 2) シャッターカバー(温度調整用カバー)の追加装置の取り付けは認められます。但し、危険な構造であってはならず、強固に固定されていること。装着物、装着状態は車検員に確認され、不具合がある場合は再度、取り付け方法を指示される場合や取り外しを指摘されることがあります。
- 3) 冷却水は水のみとし、不凍液やそれに相当する液体の使用は認められません。
- 4) 冷却の調整の為にガムテープを使用する場合は、ラジエターに対して1周巻き以上に貼り付け、はがれることのないようにしなければなりません。

第61条 テレコミュニケーション

コース上のドライバーとそれ以外の者との間で連絡ができるテレコミュニケーション(遠隔通話装置、無線装置など)の使用は禁止します。この事項に対する抗議は一切受け付けられません。

第62条 空力装置、補強部品、安全ガード、一般市販オプション品

※取付方法、使用許可品は、2017年 JAF規則に準じます。

第9章 傷害保険

保険規定は瑞浪のレースシリーズ、SLカートミーティング特別規則書の第10章と同様とします。MAX CHALLENGE、KZ125、Rok シフター、他のクラスでも、SLカートミーティングを開催しているJKLA公認コースであれば、レース中の事故保障は受けられます。

第10章 クラス別規定



第63条 MAX CHALLENGE シリーズ クラス

[カテゴリー名称 ; Junior MAX、Senior MAX、MAX Masters、Super Masters]

1) エンジン : ROTAX FR125MAX (Senior MAX、MAX Masters)、ROTAX FR125MAX JR (Junior MAX) とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

2) 使用するパーツは純正品に限ります。ただし、以下の変更は認められます。

① ベースガスケット : 使用数およびサイズは自由とします。

② スキッシュ : 最小値 1.00mm

【 Senior MAX、MAX Masters、Super Masters 】

最小値 1.20mm

【 Junior MAX 】

③ インテークサイレンサー : 純正品 Version2 の本体を使用すること。中に装着するエアフィルターは、ROTAX 純正の、1層構造の黒色、2層構造の緑/オレンジ、2層構造の緑/濃い緑“Twin Air”の3種類いずれかを使用すること。

※ただし、エアフィルターの加工、改造は禁止されます。

④ バッテリー : 純正品を使用し、シャーシのメインパイプにホルダーを使用して取り付けなければなりません。

3) キャブレター : 純正品のデロルトキャブレターVHSB34XSとし無改造とします。

4) マフラー : 純正品を使用し、消音装置の消音部材のみ交換する以外改造は認められません。

5) ラジエター : 純正品とし無改造とする。取り付け位置もメーカー指定の通りとします。※不凍液(クーラント)の使用は認められません。温度調整のため、ラジエターにテープを貼る場合、ラジエター本体にテープを1周以上まわして必ず取れないようにしてください。

6) タイヤ : Junior MAX、Senior MAX、MAX Masters、Super Masters
ドライ / MOJO D2、ウェット / MOJO W3

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 MAX と、2017 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 特別規則書に準じます。

[カテゴリー名称 ; Micro MAX クラス]

エンジン : ROTAX FR125MAX JR (Junior MAX) とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

タイヤ : ドライ用 MOJO C2、ウェット用 MOJO W3

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 Micro MAX と、2017 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 規則書に準じます。

[カテゴリー名称；MINI MAX クラス]

エンジン：ROTAX FR125MAX JR(Junior MAX)とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

タイヤ：ドライ / MOJO C2、 ウェット / MOJO W3

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 MINI MAX と、2017 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 特別規則書に準じます。

第64条 MAX ノービス クラス、ジェントルマンクラス

エンジン：MAX EVO エンジンも含み、全てのMAXエンジン、XSキャブレターを使用可とします。

使用部品の互換性規定に関しては、Senior MAX に準じます。

注)エンジン排気側のみリストラクターを装着しなくてはなりません。



排気リストラクター

【 部品番号 2 7 3 9 7 2 】または 【 部品番号 2 7 3 1 9 6 】

標準排気ソケットに替えて装着しなければなりません。
内径：φ22mm+0.2mm 未満で、追加加工はいかなる場合でも禁止されます。

タイヤ：ドライ / Unilli、 ウェット / MOJO W2またはW3

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2017 MAX と、2017 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 規則書に準じます。



第65条 KZ / Rok Shifterクラス

以下のエンジンが使用できます。 ※追加エンジンが発生する場合があります

1)KZエンジン-125

エンジン形式；水冷単気筒2ストローク リードバルブエンジン

タイヤ：ドライ / 一般市販タイヤ

ウェット / 一般市販タイヤ

※変更があった場合は、公式通知によって発表いたします

2)Rok シフターエンジン-125

エンジン形式；水冷単気筒2ストローク リードバルブエンジン

タイヤ：ドライ / BS YLR

ウェット / BS YLP

【ご注意】KZミシヨクラスに関しては、2017年 JAF（日本自動車連盟）国内競技規則と JAF国内カート競技規則、KZ部門適用車両規定になるべく準拠するよう配慮します。

※Rok Shifterクラスについての詳細は、2017 Rok Shifterシリーズ規定に準じます。

また記載ない詳細は、2017 フェスティカサーキット瑞浪 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES 特別規則書に準じます。



	Micro	Mini	Junior	Senior	Masters
シャーシ	一般市販シャーシ 950MM	一般市販シャーシ 950MM	一般市販シャーシ	一般市販シャーシ	一般市販シャーシ
エンジン	Micro Max	Mini Max	Junior Max	Senior Max	Senior Max
キャブレター	デロルト XS	デロルト XS	デロルト XS	デロルト XS	デロルト XS
プラグ (注1)	NGK GR8DI-8	NGK GR8DI-8	NGK GR9DI-8	NGK GR9DI-8	NGK GR9DI-8
オイル	XPS	XPS	XPS	XPS	XPS
タイヤ DRY	MOJO C2 (4.0/5.0)	MOJO C2 (4.0/5.0)	MOJO D2 (4.5/7.1)	MOJO D2 (4.5/7.1)	MOJO D2 (4.5/7.1)
タイヤ WET	MOJO W3 (4.5/6.0)	MOJO W3 (4.5/6.0)	MOJO W3 (4.5/6.0)	MOJO W3 (4.5/6.0)	MOJO W3 (4.5/6.0)
最低重量	115kg	125kg	150kg	160kg	165kg
参加年齢 (注2)	小学2年生～小学6年生	小学4年生～中学2年生	小学6年生～17歳	中学3年生以上～	25歳～

Super Masters	Novice	ジェントルマン
一般市販シャーシ	一般市販シャーシ	一般市販シャーシ
Senior Max	Novice 仕様	Novice 仕様
デロルト XS	自由	自由
NGK GR9DI-8	自由	自由
XPS	自由	自由
MOJO D2 (4.5/7.1)	UNILLI (4.5/6.0)	UNILLI (4.5/6.0)
MOJO W3 (4.5/6.0)	MOJO W2 or W3(4.5/6.0)	MOJO W2 or W3(4.5/6.0)
165kg	160kg	160kg
45歳～	中学3年生以上～	35歳～

注1 : 2017年4月1日より Micro/Mini クラスは NGK GR8DI-8 のみ、
Junior/Senior/Masters は NGK GR9DI-8 のみ の指定プラグに変更されます

注2 : 表に記載されている学年、年齢は当該年度として扱います。

また、グランドファイナル出場可能年齢は、2017年1月1日～12月31日に、下記の年齢
でなければなりません

Micro : 8～11歳

Mini : 10～13歳

Junior : 12～15歳

Senior : 14歳～

Masters : 32歳～



注3 : グランドファイナルに出場予定の選手は、国際ライセンスを所持していること。
申請が必要な方は、2017年9月のレース終了以降に、国際ライセンスを申請できる条件
を満たしていなければなりませんので、各選において準備、申請をお願いします。